

平成20年5月14日

## 地域情報誌『横浜ルネサンス』第11号の発行について

横浜信用金庫（理事長：斎藤寿臣／〒231-8466 横浜市中区尾上町2-16-1）は、地域情報誌『横浜ルネサンス』第11号を発行しました。

『横浜ルネサンス』は、当金庫の創立80周年記念事業の一環として、平成14年10月に創刊しました。当初は年1回の発行でしたが、平成18年から春と秋の年2回の発行としています。

本号では、「横浜を読む」と題して、書物に限らず、地図や建築物なども含めて横浜を多面的に読み込むことを試みました。『横浜ルネサンス』は元々、「都市は書物である」というテーマを受けて、生活者の視点による「横浜の読み方」を提示することをコンセプトとしています。その意味で、本号の特集は創刊時の精神にもっとも忠実なものと言えるかもしれません。

連載5回目となる「横浜の定番」では、創業昭和2年という老舗、勝烈庵さんのカツレツを取り上げました。前号の崎陽軒さんのシウマイに続き、おいしい企画になりました。

20頁では、平成20年1月から2月にかけて、キング（神奈川県庁本庁舎）、クイーン（横浜税関）、ジャック（横浜市開港記念会館）の横浜三塔について、「最も訪れてみたい塔」を全国から募った集計結果をご紹介します。

『横浜ルネサンス』の発行は、横浜観光プロモーションフォーラムの認定事業である「横浜ジェリービーンズ倶楽部」事業の中核となっています。発行部数は1万2千部で、当金庫の営業店の他、横浜美術館、三溪園、パシフィコ横浜などで配布しています。概要は以下のとおりです。

### 記

1. 名称「横浜ルネサンス」

2. 発行日：平成20年5月10日

3. 内容及び登場人物

「横浜を読む」

- ・山崎洋子（小説家）
- ・石黒徹・入江佳久（横浜市まちづくり調整局）
- ・兼弘彰（一級建築士）
- ・河野真（古書通信販売サイト・オーナー）
- ・佐々木淳（有隣堂出版部）
- ＊「横浜の定番」第5回……勝烈庵のカツレツ
- ＊「横浜を詠む」……水原紫苑＜写真：矢部志保＞
- ＊Who's Who in YOKOHAMA……丸山和俊（インターフード社長）
- ＊横浜三塔物語「最も訪れてみたい塔は？」結果発表
- ＊「横浜の聴き方4」中島久／「夜が明けたら」
- ＊「横浜絵解き図絵」……輸入食品の違反事例
- ＊「横浜ジェリービーンズ倶楽部通信」

4. 発行部数：1万2千部

5. 配布方法：当金庫の店頭その他、横浜美術館、三溪園、パシフィコ横浜など市内十数か所で無料配布します。

以上

たしかな明日のお手伝い



横浜信用金庫

神奈川・東京に60店舗